

2液性発泡硬質ウレタンフォーム・ボンベタイプ商品の使用方法と注意事項

使用前の準備

最適温度
29℃
24℃

使用にあたっての最適な液温は24~29℃です。(下記「寒冷期での使用」を参照下さい)

●使用場所の換気を良くして下さい。換気はウレタンフォーム作業終了後、約3時間は継続して下さい。
●施工する場所以外にウレタンフォームが付着しないように、施工部分以外は養生して下さい。
●吹き付け、注入・充填箇所のほこり、油分等を除去、また水分は乾燥させてから使用して下さい。

保護手袋、防護メガネ、作業着を着用して下さい。また使用中は十分な換気を行うか、呼吸器具を準備して下さい。

両方のボンベをよく振って、ボンベ内の原液がよく混ざるようにして下さい。

使用方法

①赤色ホースはA液のボンベの液吐出口に、黒色のホースはB液のボンベ液吐出口に取り付け、スパナ等の工具でしっかりとねじ込み接続して下さい。

②ポンペを正立にして、バルブを全開して下さい。ガン・ノズル装着部にノズルを装着すれば、使用準備完了です。

③ガン・ノズル装着部にノズルを装着すれば使用準備完了です。

④初めての使用、また作業中断の後の再使用前に、ガン・ノズルを空打ちして下さい。ホースやノズル内にフラッシュされ、発泡不良の防止になります。

ノズルの装着方法

①ガン・ノズル装着面に付属のグリース(オレンジと白色の袋入り)を塗り、指で満遍なく広げて下さい。ガン・ノズルの装着面が清潔に保たれ、この部分での液の硬化を防ぎ発泡不良の防止に効果があります。使用途中でも小さめにグリースを塗って頂ければ、更に効果的です。グリースは付属品として2袋ついています。(特に高温の夏場は液吐出圧力が高まり、トリガーを強く引きすぎると、ガン・ノズル装着部下部より液が漏れることがあります。グリースの塗布は十分に行ってください)

②ノズル下部の引っ張り力をガン・ノズル装着部の溝に挿入して下さい。

③ノズル上部のストッパーをガン・ノズル装着部に「カチッ」と音がするまで押し付けて下さい。

④ノズル交換の場合は、ノズル上部のストッパーを前方に押し、ロックを解除して下さい。簡単にノズルが脱着されます。

ガン・トリガーの使い方

ガン・トリガーの引き具合によって個々の作業に最適な液の流量やスプレーパターンを調整して下さい。

夏場で高温の場合(特に開封直後で容器内の液レベルが高い場合は)液吐出圧力が高まり、ガン・トリガーを強く引きすぎると、ガン・ノズル装着部下部より液がもれることがあります。この様な状態はグリースの塗布とガン・トリガーの引き具合の調整で解消出来ます。

作業中断時や再利用までの保管時には、ガン・トリガーに付いているセイフティー・ロックを立てて、不意な液の吐出を防止して下さい。

ノズルの種類

吹付用ノズル
ノズル先端が下図の様に平たく割れています。広角に液を吐出し、広範囲にわたって均一な厚みでシームレスなフォームを形成します。面への吹付用途に最適です。

注入・充填用ノズル
ノズル先端が下図の様にネジ状になっています。鋭角に液を吐出します。空間への注入や隙間の充填用途に最適です。

ノズルは下記の通り、計16個含まれています。

	吹付用ノズル	注入・充填用ノズル
ハンディフォーム #2605	8個	8個

その他の注意

- 吐出後の原液は5~8倍に発泡しますので、この点を考慮して作業を行って下さい。
- 作業が中断した場合は、30~60秒でノズル内での液の硬化が始まります。30秒以上の作業中断があった場合は、ノズルを新しいものに交換して下さい。ノズル内での液づまりが原因の発泡・硬化不良を防止します。
- 容器内の液が残り少なくなると、吐出した液の色が変化します。この状態になったら作業は中止し、新しい製品を使用して下さい。
- ウレタンフォームはほとんどの材料に接着しますが、ポリエチレン、テフロンなどのフッ素樹脂で加工された面、シリコン、油、グリース、剥離材、銀面加工された面などには接着しませんので、ご注意ください。
- 硬化したウレタンフォームは紫外線にあたると劣化します。直射日光にあたる場所への施工の場合は、ウレタンフォーム内部硬化後に必要に応じてパテや塗料などで表面を処理して下さい。紫外線による劣化を防ぎます。

保管時の注意

- 10~20℃の冷暗所で保管して下さい。
- 40℃以上となるとろろには置かないで下さい。破裂することがあります。
- 熱源、火のある所へは絶対に置かないで下さい。破裂することがあります。
- 幼児、児童の手の届かない所に保管して下さい。

使用後の注意

- ボンベのバルブを閉めて下さい。
- 保管時の温度等については上記「保管時の注意」を参照下さい。
- ガン・ノズル装着面を布などできれいにし、硬化した液や塵を取り除いて下さい。きれいになったガン・ノズル装着面に再度グリースを塗布して下さい。ノズル(できれば使用済のもの)をガンに装着して下さい。保管の間はトリガーのセイフティー・ロックを立て、不意な液の吐出を防止して下さい。
- 専用ホースはボンベから外さないで下さい。また、専用ホースをエア、水、溶剤などで洗浄しないで下さい。
- 専用ガンは使い捨て用です。長期間の保管や継続的再利用には適しません。長期の保管を可能にするには、少なくとも7日に1回、少量を試し打ちし、ホース内を液がスムーズに流れることを確認して下さい。初めての使用からなるべく30日以内に全量を使い切ってください。

保管後のガン・再利用

- トリガーのセイフティー・ロックを解除するまえに、ノズルを外して下さい。ガンとノズルの装着部分が清潔に保たれていることを確認して下さい。硬化した液や塵などが付着している場合は、柔らかい布を使って取り除いて下さい。
- 再利用の前に、再度グリースをガンとノズルの装着面に塗布して下さい。
- 新しいノズルを装着して作業を開始して下さい。

使用後の容器の廃棄処理

- 容器に穴を空けたり、焼いたりしないで下さい。
- 容器が空になったら、容器内のガスを抜いて下さい。容器にはまだ圧力がかかっています。ガスを抜く際、防護メガネ、手袋、マスク等を必ず着用して下さい。容器のバルブを使用の際の方向と逆の方向に向けて、ゆっくりとバルブを開けて下さい。この際、容器から顔をそむけ、圧力が完全に抜けるようにして下さい。
- 空の容器は有毒なガスを含んでいる場合があります。換気を充分に行い、呼吸器具を準備して下さい。
- 使用後の容器は産業廃棄物として処理して下さい。

寒冷期での使用

2液性発泡硬質ウレタンフォームは、A液(イソシアネート)とB液(ポリオール)が1:1の均等に混合することにより起こる化学反応を利用し、良質なフォームを形成します。そのため液の最適温度は24~29℃です。特に液温が低い場合は容器内の圧力が下がり、また液の粘度が高まるため、ホース内をスムーズに液が流れず、A液、B液が均等に混合しない原因となります。この不均等が原因で発泡・硬化不良が発生します。躯体の温度は最低でも7~10℃は必要です。

液温を最適にするために、使用前に容器を20℃以上の室内で数時間放置して、液が温まった段階で使用して下さい。ストーブ、バーナー、熱湯などで暖めると破裂の危険がありますので止めて下さい。

応急手当て

- 手、指、皮膚に液が付着した場合、石鹸と水で直ちに丁寧に洗浄して下さい。皮膚への接触により軽い炎症や一時的に皮膚が黒ずむことがあります。刺激が続く場合はスキンケアを塗って下さい。症状が残る場合は医師の診断を受けて下さい。
- 目に液の飛翔が入った場合、最低でも15分間、きれいな水で目を洗ってから医師の診断を受けて下さい。
- ガスを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある所に移動して下さい。症状によっては医師の診断を受けて下さい。
- 液を摂取した場合、無理やり吐こうとせず、1~2杯の水かミルクを飲んでから、医師の診断を受けて下さい。

高圧ガスの名称：HFC-134a、圧縮窒素 使用容器：DOT-39

MADE IN USA

Fomo Japan

総輸入販売元：
フォモジャパン株式会社
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-22南麻布T&Fビル8F
Email: info@fomo.co.jp www.fomo.co.jp
Tel : 03-5789-7960 Fax : 03-5789-7901

Fomo Products, Inc.

A Member of the FLM Group of Companies
An ISO 9001 Registered Company
製造元：
Fomo Products, Inc.
P.O. Box 1078 2775 Barber Road
Norton, Ohio 44203 USA
Tel: 1-330-753-4585
Fax: 1-330-753-5199
www.fomo.com